

Soul Carrier

— 故郷を知らない魂を還す —



マウイ島でのオフグリッド支援活動

■ 海を渡った日本人、忘れられた約束

1885 年からの移民、戦後の戦争花嫁——様々な理由で海を渡り、異国の地で生涯を終えた日本人がいます。しかし彼らの多くは、日本政府の帰還支援の対象外。制度の狭間に落ちたまま、故郷を知らずに眠っています。墓石は日本の方角を向いているのに、誰も還してくれない。

■ 誰もやらない、誰もやれない

日本政府は「戦没者ではないから対象外」「アメリカ国籍だから邦人ではない」と言います。アメリカ政府は「遺骨は私的財産、遺族の問題」と言います。日系人コミュニティは世代を重ねて日本とのつながりが薄れています。すべての制度の狭間に、彼らは落ちています。

■ Soul Carrier とは

国に頼れないなら、草の根で動くしかない。Soul Carrier は、海外で眠る日系人の遺骨を故郷に還す活動です。周辺寺院をくまなく足を運び、公営墓地を含め 5000 を超える墓石を巡り、地域行政との連携を経て、手応えを得ました。戦後 80 年、当時を知る世代がまだいる今だからこそ、届けられる。一人の遺骨を還すことから、ムーブメントは始まります。

■ 最初の署名者

2026 年 1 月、最初の基本合意書に署名してくださったのは、ご自身も生死の境を経験されたご主人と、その奥様でした。私の婚姻届の証人欄にも署名してくださった方です。三途の川から還ってこられた方が、「還す」活動に共鳴してくださった。この物語から、Soul Carrier は動き始めます。

■ あなたも「運ぶ人」になれます

基本合意書（MOU）への署名は、法的拘束力も金銭的義務もありません。「この活動に共鳴する」という意思表示です。100 人の署名者がいれば、100 人がこの想いを運ぶキャリアになります。

Soul Carrier / Boundarist Movement

運営: Digital Wheel 合同会社 | アンバサダー: 佐藤 卓也
business@satotakuya.jp | 080-4448-7444

活動の詳細はこちら



bit.ly/boundaristjp